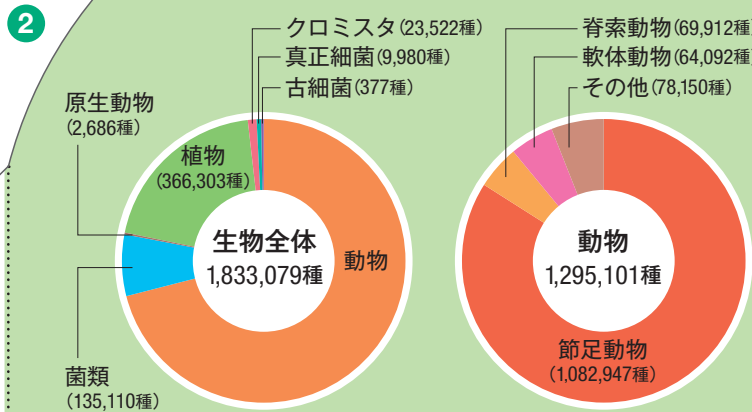




## いまの時代の 生きものの種数の割合



種数は、Catalogue of Lifeを参照した。

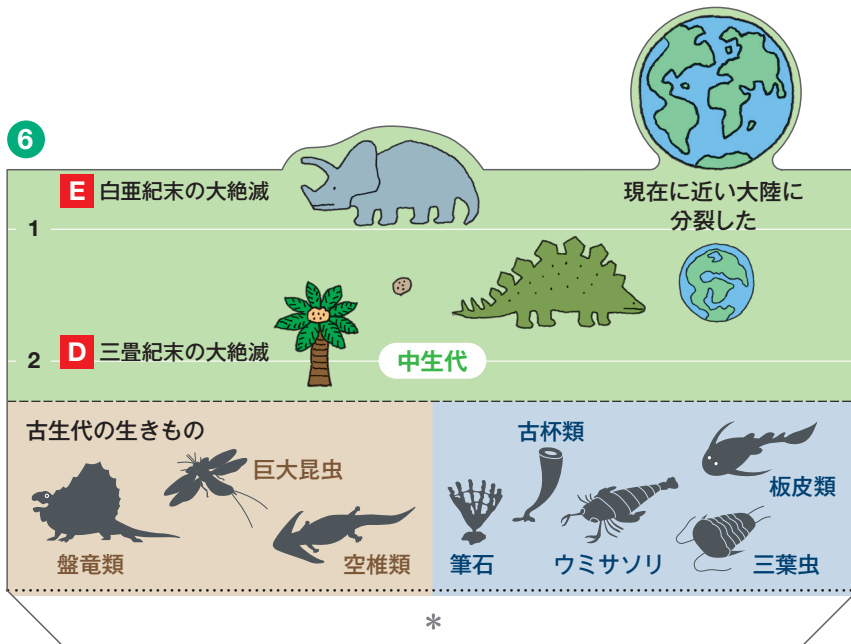
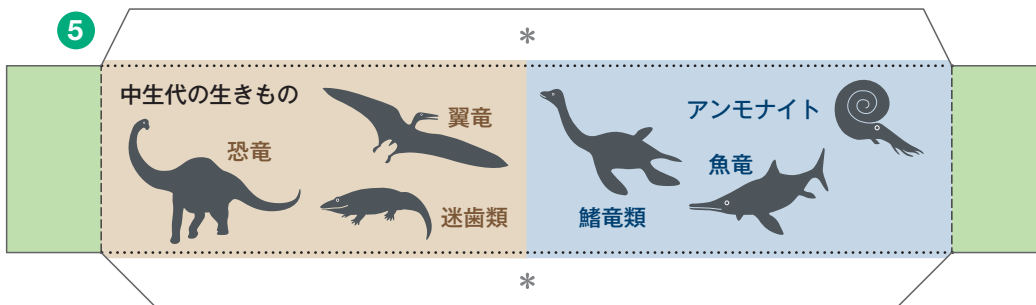
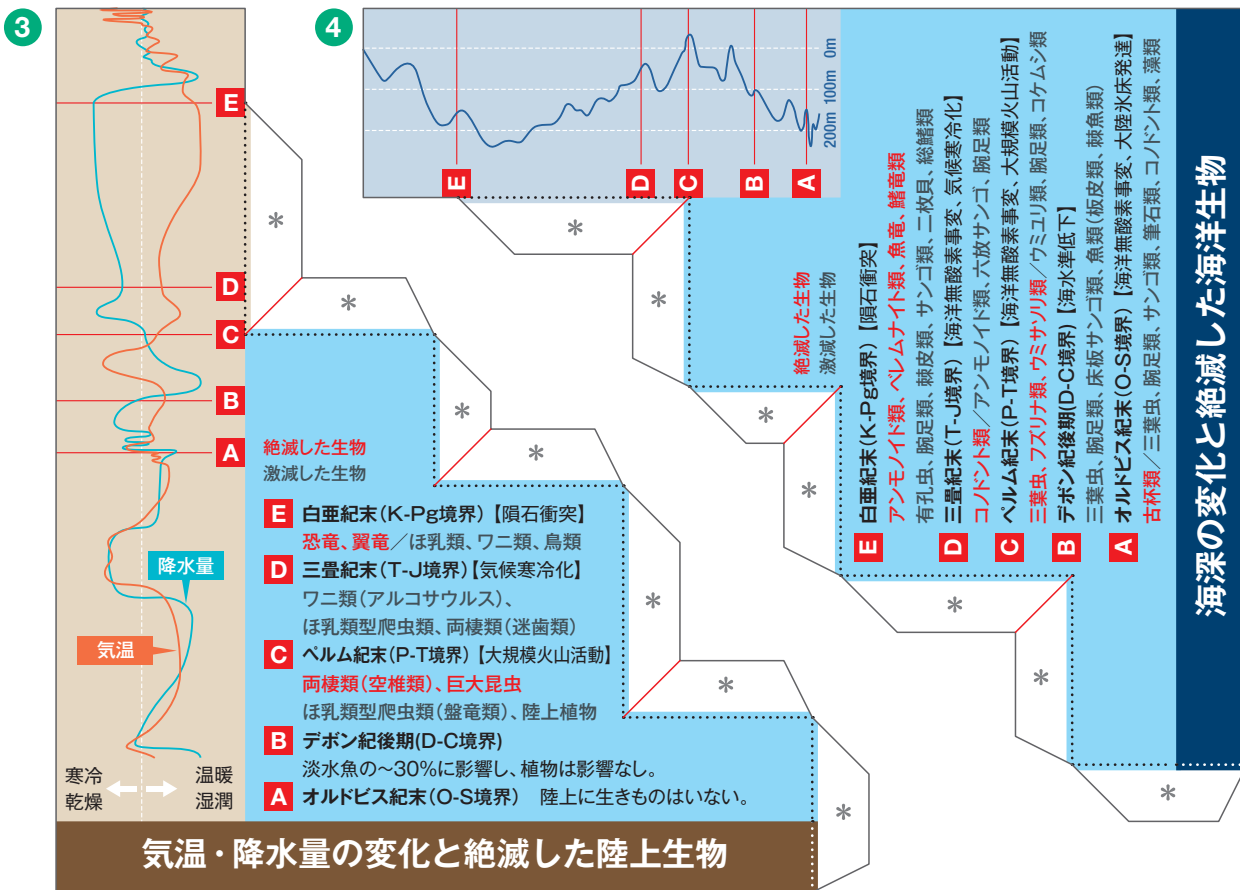
<http://www.catalogueoflife.org/col/info/totals>

Roskov Y., Ower G., Orrell T., Nicolson D., Bailly N., Kirk P.M., Bourgoin T., DeWalt R.E., Decock W., Nieukerken E. van, Zarucchi J., Penev L., eds. (2019). Species 2000 & ITIS Catalogue of Life, 20th February 2019. Digital resource at [www.catalogueoflife.org/col](http://www.catalogueoflife.org/col). Species 2000: Naturalis, Leiden, the Netherlands. ISSN 2405-8858.

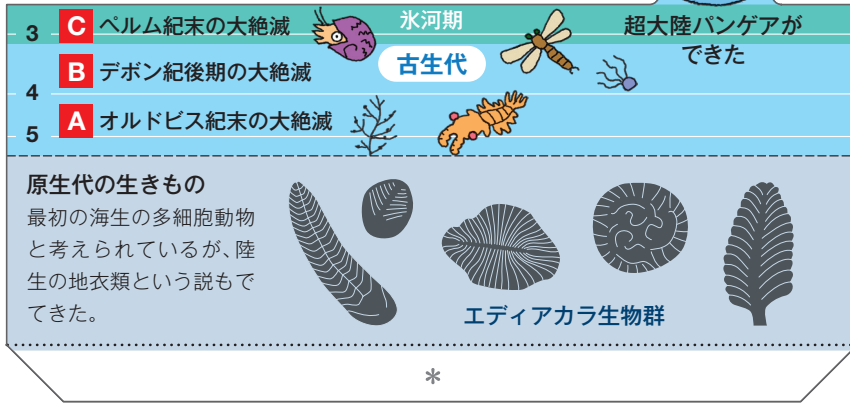
### 側面 | 地球の変動と生きものの盛衰

始生代と原生代では、27億年前と19億年前に大陸形成、火山活動、酸素上昇、氷河期という事件が起き、それぞれの地層からシアノバクテリア、真核生物の痕跡が発見されている。原生代末にはスノーボールアースという大事件があり、その後多細胞生物が現れる。古生代と中生代には、5回もの大絶滅があった。海の生きものの絶滅は、海が後退し大陸棚が減少した時期と重なる。陸の上での絶滅には、寒さより乾燥の影響が大きいようだ。地球と生きものの変動の間の因果関係を言うのは難しいが、考えはあれこれ膨らむ。

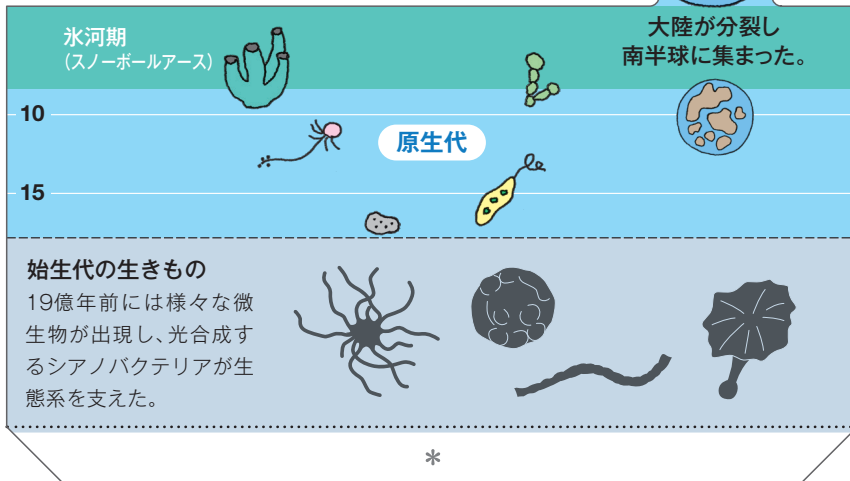
参考文献：Geological Society of America Bulletin vol.125 no. 7/8 1027-1052 (2013)  
 Science vol.235(4793) 1156-1167 (1987)  
 The Earth System (3ed), Pearson Education (2011)  
 生命と地球の共進化 川上紳一 NHK出版 (2000)



7



8



9

